

## 諸外国の文化財保存修復専門家養成 (②セ06-09-4/5)

### 目 的

国内で混乱が続くイラクやアフガニスタン、また文化財の保存に関しては発展段階にあるアジア諸国においては、文化財の保存修復専門家が決定的に不足しており、その養成が緊急の課題となっている。

文化遺産国際協力センターでは、アジア諸国での文化財の保存修復を担う専門家の人材育成のための事業を進めている。研修には、経験豊かな保存修復専門家の関与が必要であり、同時に専門家養成のための基本となる教材や方法を整備し、普及させていく必要がある。

本事業では、アジア諸国における文化財保存のための人材養成に貢献することを目的として、文化財保存修復の専門家を育成するための研修の実施と並行して、研修のための資料を作成し、普及、養成のために活用している。

### 成 果

本年度は、文化財の保存修復の研修に活用するための教材として、染織品の保存に関するビデオとカビのコントロールに関するテキストを作成した。

染織品の保存に関するビデオでは、作品を構成する素材や様々な劣化損傷の症状などを具体例に即して紹介したうえで、作品の適切な取り扱い方法について、基本的留意点から、收藏、展示、表面清掃といった実際まで、専門家による実演を交えつつわかりやすく紹介している。なお、このDVDの作成においては、文化学園服飾博物館から資料提供、撮影協力を受けた。

一方、テキストは、一般的な博物館環境におけるカビのコントロールを主題に、実務者に対するガイドラインとして活用されることを意図したものである。カビの発生原因や人体への影響といった基礎知識と、予防や発生時の対処方法といった実際面との2部構成となっている。テキスト内容は保存修復科学センターの監修のもと、木川・間淵・佐野各氏による既発表の論考を再構成したものである。

DVD、テキストともに、海外専門家の招聘研修等において使用されることを念頭において、日本語版と同一内容の英語版とを作成した。

- ・『染織品の保存と活用』DVDビデオ 東京文化財研究所 10.3
- ・“Care of Textile and Costume Collections”, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 10.3
- ・『文化財展示収蔵施設におけるカビのコントロールについて』テキスト 東京文化財研究所 10.3
- ・“Control of Molds in Museum Environment: Basic Strategies”, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo 10.3

### 研究組織

○清水真一、友田正彦、廣野幸（以上、文化遺産国際協力センター）